

## Phylogenetic systematics of the family Triakidae

高橋聖史・仲谷一宏(北大院水産)

Masafumi TAKAHASHI and Kazuhiro NAKAYA

(Grad. Sch. Fish. Sci., Hokkaido Univ.)

ドチザメ科はメジロザメ目の一分類群で、世界に9属約39種が知られている。本科を含むメジロザメ目全体の系統分類は Compagno (1988)などによって行われているが、本科及び各科の単系統性や科内の類縁関係は未解決である。本研究は、ドチザメ科魚類8属23種を含む本目8科33属の比較解剖を行い、分岐分類学的手法を用いて本科の系統学的位置の推定および分類体系の再構築を目的として行った。

解析の結果、メジロザメ目は始めにトラザメ類が側系統群としてそれぞれ分岐し、(タイワンザメ類+オシザメ類)クレードが(ドチザメ類+*Leptocharhias*+ヒレトガリザメ類+メジロザメ類+シュモクザメ類)クレードの姉妹群に位置した。Compagno (1988)でドチザメ科魚類を含むクレードの姉妹群とされてきた *Leptocharias* は(ヒレトガリザメ類+メジロザメ類+シュモクザメ類)クレードの姉妹群に位置した。

本研究では、従来のドチザメ科魚類の単系統性は支持されず、本科魚類は(ドチザメ属+ホシザメ属+*Scylliogaleus*)クレードと、(エイラクブカ属+*Furgaleus*+イコクエイラクブカ属+ツマグロエイラクブカ属+*Iago*+*Leptocharhias*+ヒレトガリザメ類+メジロザメ類+シュモクザメ類)クレードの系統群からなることが明らかになった。このうち前者は6個の共有派生形質で支持される単系統群であり新たにこのクレードにドチザメ科を提唱する。それ以外の旧ドチザメ科魚類は後者のクレードに属しクレード内で側系統群となる。ドチザメ属のうち *Triakis maculata* はホシザメ属と *Scylliogaleus* と共に単系統群を形成することから、従来のドチザメ属の単系統性は否定された。結果として新たなドチザメ科にはドチザメ属、ホシザメ属、*Scylliogaleus* と Cazon De Buen, 1959(タイプ種 *Triakis maculata*) の4属を含めることが妥当である。